

令和2年厚生連 AWARD の表彰式を行いました！

厚生連 AWARD は、毎年、年に1回厚生連全体の職場活性化を目的として、主に業務を超えて本会のために尽力された個人および団体を表彰するものです。

令和2年は新型コロナウイルスの影響を受けた大変な1年となりました。健診・診療の状況はもとより、多くの催事等の中止や、学会がWEBで開催されるなどこれまで経験したことのないことばかりでした。

そのような中、今回も多数の推薦を受けて厚生連AWARDを5団体1個人に決定いたしました。

最優秀賞は、コロナ禍で現場の最前線で活躍したICT（感染制御チーム）、清掃委託先の㈱ジェイテックは厚生連職員以外で初の受賞となりました。

受賞団体（個人）と受賞内容等は下記の通りです。

【最優秀賞】

団体名	受賞理由
ICT	新型コロナウイルス感染症に対して最前線で対応し、感染対策に尽力した。

【優秀賞】

団体名	受賞理由
がんセンターボードチーム	がん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有することを目的に平成21年に発足し、ほぼ毎月開催を継続してきた結果、今年度100回の節目を迎えた。長年続けている本活動により、当院の安全ながん治療に貢献している。
化学療法チーム	限られたスタッフの中で、予約システムを見直した結果、今年度上半期だけでも昨年度比1.5倍の患者さんを受け入れることができた。予約システムの見直しだけでなく、安全な環境で治療を提供できるように日々対応している。
手術科 看護助手	新型コロナウイルスの影響により、消毒剤に加え、消毒剤を詰める容器も入手困難になったが、医療職一人一人が携帯している数十個の容器を洗浄し、乾燥する作業を毎回実施しており、患者や院内のスタッフが安心して各所で手指消毒ができています。
㈱ジェイテック	コロナ禍において、院内の消毒作業や検温作業を積極的に対応して頂いた。

※団体受賞者のみ掲載

○表彰式の様子

